

# 平成26年度 市民環境部長「政策宣言」達成状況報告

市民環境部長 寺岡伸清

## ○ 平成26年度重要事業

<b>事業名</b>	斎場整備への着手
<b>目 標</b>	平成26年度予算においては、斎場整備に向けた基本計画策定費を盛り込んでいます。合併以来の懸案である当該事業は難事業ではありますが、既存施設の老朽化の進展や財源の見込み等を考慮した場合、猶予は無くなりつつあると認識しています。ついては、今年度において、可能な限り整備地を確定させ、基本計画を策定するなど、当該事業に対して本格的に着手いたします。
<b>年度末達成状況</b>	整備地の絞り込みについて関係方面と交渉を進めていますが、未だに成案を得ていません。引き続き、調整を進めます。
<b>自己評価</b>	斎場整備は合併特例債事業であり、残された時間は少ないと認識しています。 可能な限り早期に整備地の決定が必要ですが、着手は出来ませんでした。

<b>事業名</b>	庁舎整備後の窓口サービスの在り方検討(特に地区センターの在り方)
<b>目 標</b>	平成26年度から市民環境部に市民課が新設され、窓口サービスの在り方を検討する事務を所管することとなりました。ついては、とりわけ、地区行政センター(仮称)におけるサービスの在り方について、庁内関係部局と建設的な議論を進めながら当局案を整備してまいります。検討に当たっては、市民サービスの維持向上と、合併効果の具現化という両方面からしっかりと検討します。
<b>年度末達成状況</b>	地区窓口の在り方について当局案を決定し3月定例会に報告できる段階となりました。内容も総合窓口との切り分け、またコンビニとのコラボも実現し、サービス向上が図られることとなりました。
<b>自己評価</b>	庁舎整備後の市民窓口の在り方について、市民サービスの維持向上、行財政改革視点から一定評価できるプランとなりました。

<b>事業名</b>	公共交通プランの具体化の推進
<b>目 標</b>	本市においては昨年射水市公共交通プランを策定しましたが、そのプランを生かした具体的な取組は今年度からであります。ついては引き続き交通関係者等との折衝は粘り強く進めますが、一方で、今年度から新たに幅広い市民の意見を聞くために(仮称)公共交通検討協議会を設置し、幅広い視点からの議論を進めることとしており、それらの成果を生かしつつ、魅力的でかつ将来に持続的な公共交通対策を進めます。

<b>年度末 達成状況</b>	公共交通検討協議会を開催し、専門的知見を活かすとともに、市民の声を聞き、今年度はとりわけコミュニティバスの在り方を検討しました。成果としては、モーニング直通便の実証運行にまで進めました。
<b>自己評価</b>	公共交通協議会では、コミュニティバスを重点的に協議し、運行の在り方、バス停の在り方、その他建設的な議論ができました。